

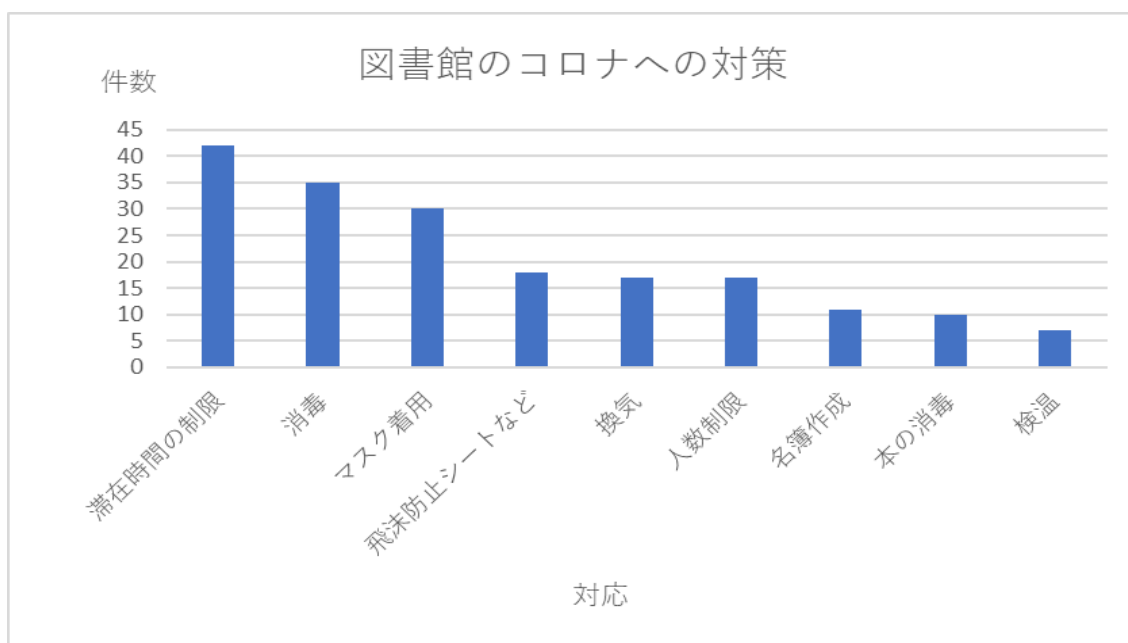
1. コロナ禍における愛知県内公立図書館の取組

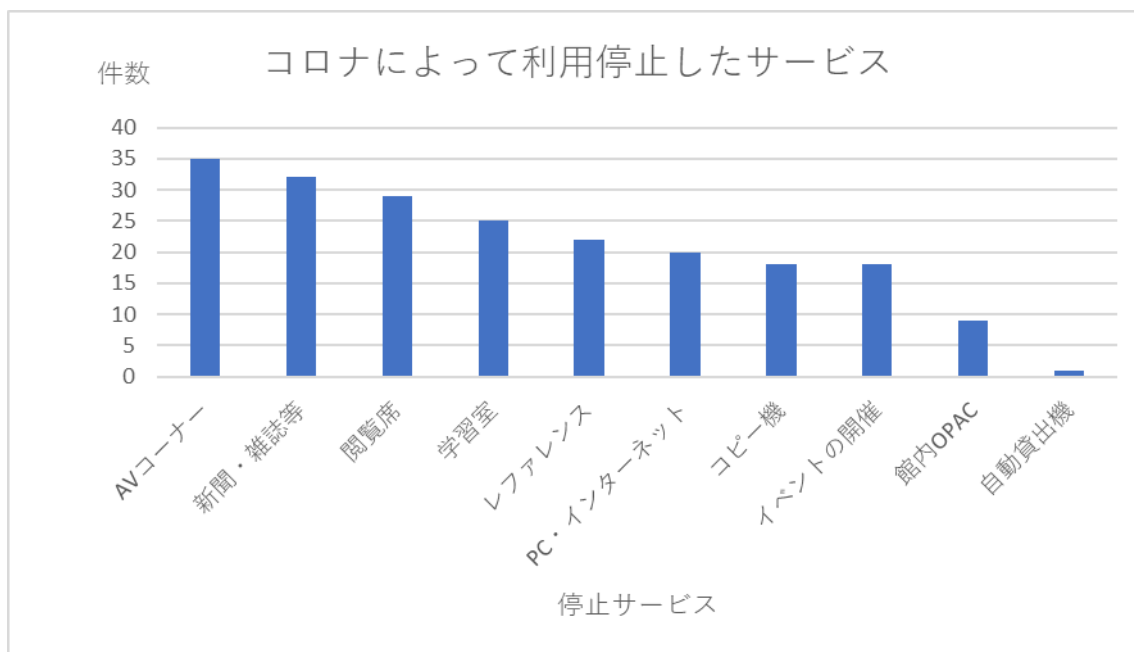
二つの表は、コロナ禍の図書館で6月の時点で行われた対策と利用停止していたサービスを項目ごとに件数を数えてまとめたものである。詳しく記載されていない図書館や、情報がネット上には記載されていない図書館も含めている。

対策の方では他の施設でも行われている基本的な対策はかなり多くの図書館で行われており、抜けている図書館も記載がないだけだと考えられる。検温や名簿作成など手間を要するものについては行なっている図書館が少なかった。

利用停止サービスについては最低限のサービスは行われているが、三密に当たるサービスや感染の確率が高くなる対面サービスは利用停止になっている図書館が多いと感じた。

コロナ対策	件数		利用停止サービス	件数
滞在時間の制限	42		AV コーナー	35
消毒	35		新聞・雑誌等	32
マスク着用	30		閲覧席	29
飛沫防止シートなど	18		学習室	25
換気	17		レファレンス	22
人数制限	17		PC・インターネット	20
名簿作成	11		コピー機	18
本の消毒	10		イベントの開催	18
検温	7		館内 OPAC	9
			自動貸出機	1





今回私たちが調べた愛知県内の公立図書館は多くが「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則ってコロナウイルス対策をしているが独自、もしくは少数が行っているサービスもあることがわかった。

例えばコロナ禍であっても本を借りたい利用者のために碧南市立図書館では冊数制限をなくし、貸し出し期限を延長するなど何度も図書館に来館せずすむような工夫がみられ、東浦町中央図書館でも「倍々キャンペーン」と称し、貸し出し冊数と期限の延長を行っている。中には江南市立図書館の配本サービスのような通常時のサービスが結果的にコロナウイルス対策で重要な三密回避として有効と思われるものもあった。

また知多市立図書館では「あいち電子・届け出システムサービス」を使い利用者の中から感染者が出た場合、感染者と同日の利用者に連絡できるようにするといった、出てしまった場合の対処が素早くできるサービスが行われている。

最低限の対策はどの図書館もやっているがそうしたなかでも独自性や何とかして利用者が借りられるようにするための積極性が垣間見られる形となった。

【まとめ】

今回の調査で、多くの図書館が日本図書館協会の「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿った対応を行っていることが推測できた。

しかし今回の調査は実地調査ではなくインターネット上で調査を行ったため、図書館によってはコロナ対策に関する情報がサイトに記述されていない、また過去の情報がアーカイブ化されていないため欲しい情報が手に入らないなどの問題点が散見された。図書館を今まで以上、安心して利用できる場所にするためにはサイト上での正確な情報公開、また情報のアーカイブ化を迅速に行うべきではないだろうか。

2.愛知県内公立図書館の電子書籍・アーカイブの現状

ここでは愛知県内公立図書館の電子書籍・デジタルアーカイブの現状についてまとめる。コロナ禍では公立図書館を十分に利用できないため、自宅等で利用できる電子書籍やデジタルアーカイブが現状どのくらい県内に普及しているかを調査した。

まず電子図書館に関しては、(一社)電子出版政制作・流通協議会(AEBS)が公開している「電子図書館(電子書籍貸出サービス)実施図書館」を参考に、愛知県内で実施している公立図書館をまとめた。

愛知県内公立図書館 電子図書館サービス(電子書籍貸出サービス)実施図書館 (2020年7月1日時点)

自治体	電子図書館名称	電子図書館サービス	サービス開始年月	電子図書館 URL
大府市	おおぶ文化交流の杜 電子図書館	TRC-DL[L]	2014年7月	https://www.d-library.jp/allobu/g0101/top/
豊川市	豊川市電子図書館	TRC-DL[L]	2016年2月	https://www.d-library.jp/toyokawa/g0101/top/
一宮市	一宮市電子図書館	LibrariE&TRC-DL	2017年1月	https://www.d-library.jp/ichinomiya/g0101/top/
安城市	安城市電子図書館	LibrariE&TRC-DL[L]	2017年6月	https://www.d-library.jp/anjo/g0101/top/
豊田市	豊田市中心図書館ふ るさとアーカイブ	LibrariE&TRC-DL	2018年1月	https://www.d-library.jp/toyota/g0101/top/

出典：電子出版制作・流通協議会「電子図書館(電子書籍貸出サービス)実施図書館」

また愛知県図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大で従来通りの図書館サービスが行えなくなったことを踏まえ、電子書籍貸出サービス事業の受注先を募集している。

次にデジタルアーカイブに関しては、以下の二つを参考にした。

- ・愛知県「市町村デジタルアーカイブリンク集」
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/0000002543.html>)
- ・愛知県図書館「県内デジタルアーカイブ」
(<https://websv.aichi-pref-library.jp/digilib.html>)

デジタルアーカイブとは、図書館や博物館、資料館、公文書館などが、所蔵する資料をデジタル化して保存・整理することで、図書館の場合デジタルライブラリーや電子図書館ということもある。

【まとめ】

電子書籍やデジタルアーカイブは図書館が閉館していても、また来館しなくてもサービスを受けられる。今現在愛知県で電子書籍貸出サービスを実施している自治体は5つしかない。今後また図書館が長期間閉館してしまうという事態にいつなるかわからない。新型コロナウイルス感染症拡大で従来通りの図書館サービスが行えなくなったことを踏まえ、これらのサービスを実施していない自治体はこれらの導入・提供を積極的に考えていくべきではないだろうか。